

# 学校だより しおやき

NO. 15

～明るいあいさつとわくわく感がある学校～

市川市立塩焼小学校 児童数 796名(12月1日現在)  
 令和6年12月2日(月)発行 TEL 047-397-1231  
 FAX 047-397-1232

学校教育目標

**命 はなまる！**

かしこく 誇らしく ねばり強く

【めざす児童像】

- ・考え、判断する子
- ・自分も相手も大切にできる子
- ・体をきたえ、ねばり強く取り組む子

校長 吉田 直美

## 自分も相手も大切にできる子

いつものように、各教室を回ってみていると3年生のあるクラスで話し合いをしている様子でした。後ろのドアから見ていると、話し合いの様子を担任も見守っています。

子どもたちの話し合いを見守っていた担任が立ち上がり、黒板に次のように書きました。

「さんせい」

「反たい」

「かいけつ」

「考えている」

そして、担任が子どもたちに次のように語り始めました。

「今、今回のことに対する賛成の人もいるし、反対の人もいる。そのどちらでもないけれど解決方法を考えた人もいる。また、発言はしていないけれどどうしたらよいか考えている人もいるね。みんな考えててくれている。では、このゴールはどうしたらいいのだろうね。」

聞いていた子どもたちは黙って担任を見つめています。

担任は黒板に矢印を書きその先に「気持ちよく過ごす」

という一言を追記しました。

そして次のように子どもたちに話しました。

「先生はね、ゴールはここだと思うの。」

みんなが気持ちよく過ごせるためにどんな結論にするかを考えていこうね。

はい、では、勉強を始めるよ。」

そう言って、いつも通り授業がスタートしました。



「ゴールは、お互いに気持ちよく過ごすこと。」これは、とても素敵なゴールですね。

子どもだけでなく、私たち大人社会においても、大切で素敵なゴール設定といえると思います。私たち大人はよく「落としどころをどこにするか」といいますが、まさにここなのだと思います。お互いが少しずつ譲り合い、気持ちよく過ごすことができるよう引き続きしてきたいものですね。

学校教育目標「命 はなまる！」の3つの重点がこの学校だよりの右上にも書かれています。その2つ目「自分も相手も大切にできる子」が、まさにこれに当てはまります。相手の心を大切にできる塩焼っ子が、少しずつ育ってきています。嬉しいことです。

# 12月の予定

4日（水）書初教室4年 1. 2校時  
3年 3. 4校時  
たんぽぽ読み聞かせ1・2年・  
さざなみ 読書タイム  
委員会活動5・6年  
5日（木）書初教室6年 1. 2校時  
5年 3. 4校時  
ペア学年交流3・4年 しおや  
きタイム  
6日（金）かえで保育園児 学校見学 AM  
7日（土）市川市南部地区合同学習発表会  
PM さざ波学級ビデオ参加  
市川文化会館  
9日（月）教育相談期間 ~13日まで 5  
校時日課  
10日（火）4年外国語ルビン先生来校



11日（水）ロング休みデー  
12日（木）スクールカウンセラー来校日  
17日（火）市川市学校教育ビジョン公開  
授業 川口教諭 宇山（由）  
教諭  
18日（水）クラブ活動 4・5・6年  
19日（木）給食最終日  
20日（金）短縮 3校時日課  
11:45 下校  
23日（月）終業式 11:45 下校  
24日（火）冬休み（1月5日まで）  
  
12月25日～1月3日は閉庁日です。



## 職業体験 2年生

11月27日（水）、2年生は校外学習で幕張にある職業体験施設「カンドゥー」に行きました。体験したい職業を選び、発見された予約チケットを大切に保管し指定された時刻にその場所に集合します。例を挙げると、ヘアデザイナー、消防士、パイロット、キャビンアテンダント、警察官、工事現場誘導員、ナース、カフェ店員、ラジオDJ、ダンサー、ファッションモデルなど、まだたくさんある職業体験ができました。

初めは予約方法に戸惑った子どもたちでしたが、数種類の体験を終えたころには、時刻調整をしながら効率よく体験できるすべを身につけていました。

午後は体験に加えて、労働で得た報酬を使ってお買い物もできました。（館内のみ有効の紙幣です）

生き生きとした表情で楽しんでいた2年生でした。

## 教師も探究学習

本校は5年宇山教諭が生成AIの活用、4年川口教諭が学習用タブレットの活用を中心とするテーマとして提案授業を12月17日に実施します

市川市教育委員会では令和4年度から、10年後の授業の姿はどうあるべきかを検討するための「学校教育ビジョンプロジェクト」を進めています。

このプロジェクトの提案授業は「自分なりに考えた方法をまずやってみる」といった大変前向きな姿勢で新たな授業形態を提案するものです。

他校の教員も来校しそれぞれの学校で活用できそうなエッセンスを持ち帰ってもらいます。